

くさきぞめハンカチをつくろう！

たまねぎのかわをつかって、ぬの（もめん）をそめます。

「草木染め」って何だろう？（染料について）

毎日着る服やタオル・ハンカチ、カーテンなど私たちの周りにはいろいろな色の布がたくさんあります。今では、布に色をつけるため、ほとんどは石油や石炭から作った化学染料を使っています。でも、むかしの人は、木や草など植物から染料を作って布を染める「草木染め」をしていました。また、木の実、例えば、ドングリや渋柿、藍の葉っぱや桜の枝などでも色を染めました。

布の種類と染まり方

布の種類には、いろいろあって草木染めの染まり方も違います。

- 動物の毛で作るウール、蚕の出す糸で作る絹、植物から作る木綿や麻
- 石油・石炭から作る化学繊維アクリル・ナイロン・レーヨンなど

草木染めでは濃く染めるための工夫や色落ちしない工夫も必要です。毛や絹は草木染めでも染まりやすいですが、木綿・麻は染まりにくいので、何回も染め重ねたり、染める前に濃く染まるような下処理をしておきます。化学繊維はほとんどが染まりませんがレーヨンなどの草木染めで染まるものもあります。